

## 報告：第4号

### 甲府市立中道北小学校の新校舎完成報告について

#### 1 経過

甲府市立中道北小学校については、リニア中央新幹線の軌道が学校の校庭を通過することがJR東海より示され、平成27年から住民説明会、保護者説明会、中道北小学校を通学区域とする11自治会の説明会等を実施し、移転地についての意見交換を行った。その後、住民説明会等における意見や要望等を踏まえ、児童の通学環境が大きく変わらない場所、避難所の確保、中道地域の将来的なまちづくりなどの課題について総合的に検討し、平成28年10月に本委員会において、移転先を決定している。

平成29年度から調査・設計等の事業に着手し、平成30年度には用地取得・実施設計、平成31年度から工事に着手し、令和3年3月に新校舎の完成を迎えた。

また、これまでに関係者を招待した式典及び内覧会の開催について検討を行ってきたが、新型コロナウイルスの感染拡大に終息の兆しが見えない中、子どもたちの教育環境の確保を最優先として式典の開催を見送ることとした。

#### 2 施設概要

##### (1) 施設

校舎：2,778.37㎡（延べ面積）

- ・普通教室：7室＋特別支援教室2室＋多目的室1室
- ・特別教室：6教室
- ・管理諸室：10室

屋内運動場、プール：1,008.52㎡（延べ面積）

給食室：299.18㎡（延べ面積）

その他：体育倉庫

##### (2) 構造（校舎）

鉄筋コンクリート造、地上3階建て、杭基礎

##### (3) その他

施設の詳細については、パンフレットに掲載

以上

# 報告：第5号

3月3日(水) 01 興石 修 議員 答弁資料目次 (令和3年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	新型コロナウイルスワクチンの接種について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	教員の働き方改革に係る取組について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	カーボンゼロへの取組について	環境部長	1
3-2	省エネ住宅への取組について	環境部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	スマートシティへの本市の取組について	企画部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	フェーズフリーの取組について	危機管理監	1
5-2 5-3	堤防の強靱化と防災基地設置について	まちづくり部長	2
5-4 5-5	悠遊館の指定避難所への指定及び避難所における情報取得環境の整備について	危機管理監	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1 6-2	リニア駅周辺の整備について	リニア交通政策監	1

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 教員の働き方改革に係る取組について

- (1) 質問者 興石 修 議員
- (2) 質問日 3月3日
- (3) 答弁者 市長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

国は、社会の変化に伴い、学校の抱える課題が複雑・多様化する中、教員の勤務実態が大変厳しい状況となっていることから、学校現場における多忙化を改善し、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるよう、教員の働き方改革の取組の徹底を求めているところであります。

こうした中、私は、本市の未来を担う子どもたちが、目をきらきら輝かせ、学べる環境づくりを目指し、教員がより児童・生徒への指導に注力できるようこれまでも市独自に雇用する臨時教職員や教員をサポートする専門スタッフを必要とする小中学校に配置するなど、さまざまな取組を行ってきたところでありますが、今以上に教員がきめ細かく子どもたちと向き合い新学習指導要領の目指す主体的・対話的で深い学びを実現するためには、更なる多忙化の改善を推し進める必要があると考えております。

こうしたことから、教員の退勤時間が遅くなる要因の一つとなっている勤務時間終了後の電話対応の負担を軽減すべく留守番電話を全小中学校に導入することとし、令和3年度当初予算案にその経費を計上したところであります。

さらに、現在、各学校において、大きな負担となっています学校給食費の未納金の徴収に係る業務等を本市が担うべき業務として推進することを決断したところであります。

## 報告：第5号

令和3年度につきましては、公会計化に向けたシステムの構築や債権管理等の移行準備に取り組み、令和4年4月から「学校給食費の公会計化」を開始することといたしました。

加えて、これまでの多忙化改善への検討結果より、学校給食費の徴収業務とともに、学校現場においては修学旅行費や教材費など、さまざまな学校納付金があり、その徴収業務等も教員の大きな負担となっていることから、全国でも先進的な取組としてこれらの「学校納付金の徴収」についても令和5年度から、段階的に本市が担うことにより、更なる教員の負担軽減を図ってまいりたいと考えております。

今後におきましても引き続き、教員の多忙化の改善に努め、子どもと向き合う時間を確保し、無限の可能性を持つ本市の子どもたちが、生き生きと学び、それぞれの夢や希望を実現できる教育活動の推進に取り組んでまいります。

# 報告：第5号

3月3日(水) 04 木内直子 議員 答弁資料目次(令和3年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	新型コロナウイルスワクチンの安全性の周知について	市長	1
1-2	新型コロナウイルス感染症に係る介護施設・高齢者施設での検査充実について	福祉保健部長	2
1-3	家族介護者が新型コロナウイルスに感染した場合の要介護者への対応について	福祉保健部長	3

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2 2-3 2-4	次期高齢者いきいき甲府プランについて	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2 3-3	生活保護制度の周知及び扶養照会について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	甲府商業高校と市立中学校での制服男女選択制について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1 5-2	行政のデジタル化と甲府市デジタルソサエティ未来ビジョンについて	総務部長	1

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 甲府商業高校と市立中学校での制服男女選択制について

- (1) 質問者 木内直子 議員
- (2) 質問日 3月3日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

平成28年度に文部科学省が作成した「性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」によれば、身体的性と自認する性の異なる児童生徒については、学校生活を送る上で特有の支援が必要な場合があることから、個別の事案に応じ、児童生徒の心情等に配慮した対応を行うよう求めています。

市教育委員会では、これまでも、このような児童生徒の在籍している学校に対して、文部科学省の通知等に基づいた、きめ細かな対応を指導し、当該校においては、児童生徒及び保護者と学校が話し合いを重ね、医療機関の助言も参考にすることで自認する性の制服の着用や髪型を認め、トイレや更衣室についても配慮するなどの支援を行ってきたところであります。

なお、甲府商業高校につきましては、現在、冬季における女子生徒の防寒対策も含め、スラックスの着用について検討を始めたところであります。

今後におきましても、身体的性と自認する性の異なる児童生徒に係る対応につきましては、当該児童生徒及び保護者の意向を踏まえながら、個別の状況に応じて、制服はもとより、学校生活の各場面で柔軟な対応と必要な支援を行ってまいります。

## 報告：第5号

3月5日(金)09 中村明彦 議員 答弁資料目次(令和3年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1	新型コロナウイルスワクチンの接種体制について	市長	1
1-2	新型コロナウイルスワクチン接種への対応について	福祉保健部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	市立小中学校におけるスポットクーラーの設置等について	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1	デジタル技術になじめない高齢者への講習会実施について	総務部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	「読書通帳」の導入について	教育部長	1

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 市立小中学校におけるスポットクーラーの設置等について

- (1) 質問者 中村明彦 議員
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 学事課
- (5) 答弁内容

本市におきましては、市立の全小中学校の普通教室や特別教室等に冷暖房設備の整備を平成26年度までに完了し、子どもたちが学校生活を健康で快適に過ごすことができるよう環境整備に努めてまいりました。

こうした中、昨年の夏場においては、新型コロナウイルス感染症対策としての換気を行うことで、屋上からの熱が最も伝わる最上階の教室では室温が下がりづらく、また、マスクを着用していることで、より暑さを感じることから、子どもたちの健康面への影響が懸念される状況となっております。

今後も新しい生活様式への対応が続いていくと考えられますことから、現地での調査・実験を行った結果、一定の効果を確認できたスポットクーラーを最上階の普通教室等に合計379台整備することといたしました。

機種選定にあたりましては、各教室内の最も効果のある個所に設置できるよう、小型・軽量で騒音が少ない機器を選定したところであります。

また、多くの教室では、スポットクーラーを稼働させるための電力容量が不足することから、現在、電力の増強工事等を進めているところであります。

今後におきましても引き続き、子どもたちの健康管理に万全を期すことができるよう環境整備に努めてまいります。

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 「読書通帳」の導入について

- (1) 質問者 中村明彦 議員
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 図書館
- (5) 答弁内容

近年、様々な情報メディアの普及を背景に「活字離れ」が懸念されております。

こうした中、子どもの読書活動は、感性を磨き、豊かな創造力を育むなど人間形成と人格形成に寄与するものであり、読んだ本の履歴を記録することは、読書への意識づけや習慣の確立に有効な手段であると考えております。

甲府市立図書館では、現在、「読書通帳」に通じる手法として、読書履歴や感想が自由に記入できる子ども向けの「読書記録ノート」を作成し、図書館受付カウンターにおいて希望者に配布するとともに、ホームページでは、「マイ本棚」という機能を利用することで、借りた本の履歴を見ることができるようになっております。

また、学校におきましては、子どもが読書に親しむ習慣を形成できるよう保護者や地域ボランティアによる読み聞かせや、ゲーム感覚で本に親しめるスタンプラリー、おすすめの本を福袋にするなど、各校が様々な特色ある取組を行うことにより子どもの読書活動を推進しております。

「読書通帳」につきましては、導入済みの他都市への調査では、読書への意欲を高めるのに有効ではあるものの、課題もあることから、それらの状況を注視する中で、引き続き、子どもの読書推進に有効な手段について、調査研究を行ってまいりたいと考えております。

# 報告：第5号

3月5日(金) 10 川崎 靖 議員 答弁資料目次 (令和3年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2 1-3	日本遺産御嶽昇仙峡の活用などについて	市長	1
1-4	黒平の能三番について	教育部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	フィルム・コミッションへの取組について	産業部長	1

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 黒平の能三番について

- (1) 質問者 川崎 靖 議員
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 歴史文化財課
- (5) 答弁内容

黒平の能三番は、村の青年が小正月の道祖神祭に祠（ほこら）の前で神楽（かぐら）を奉納したあと、前年に結婚、新築、出産など慶事があった家に赴き、その座敷を舞台に舞う神事であります。

伝搬経路は明らかではありませんが、鎌倉時代とも伝わる古典的な舞であり、室町時代に大成される能楽以前の先行芸として希少であることから昭和35年に山梨県の無形民俗文化財に指定されております。

その後、昭和62年の「甲府民俗芸能のつどい」や平成17年の県立博物館開館企画展の関連イベントである「民俗芸能実演」などに他の保存団体とともにご参加いただいております。最近では、平成30年のこうふ開府500年記念事業における「カウントダウンイベント300日前」や令和元年の「黒平能三番特別公演」、昨年の「金櫻神社例大祭」においても舞をご披露いただいております。

黒平の能三番は、本市の貴重な無形民俗文化財であり、昇仙峡を核とする日本遺産の構成文化財のひとつでもありますことから、本年2月に実施した昇仙峡観光ガイド養成講座において民俗芸能の専門家から、映像を使いながら解説を行っていただいたところであります。

今後におきましても、披露の場の創出に努めるとともに市民を対象とした関連講座の開催や市ホームページへの掲載などにより、文化財としての価値や魅力の発信に取り組んでまいります。

# 報告：第5号

3月5日(金) 12 深沢健吾 議員 答弁資料目次 (令和3年3月 定例会)

(分割方式) 1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2	令和3年度の組織整備について	市長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1 2-2	ひきこもり(8050)問題における本市の現状と今後の取組について	福祉保健部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-2	小中学校における特別支援教育について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1 4-2	コロナ禍における小中学校の学校教育について	教育長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
5-1	玉諸小学校の校庭拡張について	教育部長	1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
6-1 6-2	循環型社会の推進について	環境部長	1

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 小中学校における特別支援教育について

- (1) 質問者 深沢健吾 議員
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

平成19年度の特別支援教育の開始以降、本市においても、特別な教育的支援を必要とする児童生徒は年々増加傾向にあり、障がいの種類も、知的障害、自閉症・情緒障害、弱視、肢体不自由など多岐にわたってきております。

このような障害の多様化・複雑化とニーズの高まりを受け、本市では、より効果的な指導を実現するため、特別な施設・設備、教材・教具等を準備するとともに、県教育委員会に対しては、特別支援学級及び通級指導教室の設置増と指導に当たる教員の配置増を強く要望してきた結果、今年度は、全36小中学校に計101の特別支援学級と4小学校に言語障害と発達障害を対象とする通級指導教室が設置され、児童生徒の特性に応じた専門的指導が行われております。

次に、インクルーシブ教育につきましては、文部科学省は、平成24年7月に作成した「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」において、障がいのある子どもにとって最も適した教育内容及び学びの場の提供や必要な支援体制・教育方法の配慮を行うよう示しております。

こうした中、本市では、独自の取組として、就学相談体制を整備し、障がいの状態や教育的ニーズ、保護者・本人の意向を踏まえ、就学先を決定しており、その後においても、成長・発達に応じた相談を行っております。

また、特別支援教育支援員を全小中学校に配置するとともに、臨床心理士

## 報告：第5号

を雇用し、保護者や学校に対し、適切な支援の在り方などについて助言しております。

さらに、研修会の実施や特別支援教育研究会を設置し、より効果的な指導方法の普及を図るなど教員の専門性の向上にも努めております。

加えて、各学校では、特別支援学級や特別支援学校の児童生徒とともに教科学習や特別活動を行う「交流及び共同学習」により、相互理解を促進する取組を行っており、本市の学校教育指導重点である「思い遣る心」の育成にもつながっていると考えております。

今後におきましても、障がいのある児童生徒が、その能力や可能性を最大限伸ばし、自立し、社会参加することができるよう、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と必要な支援を行う、特別支援教育の推進に努めてまいります。

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### コロナ禍における小中学校の学校教育について

- (1) 質問者 深沢健吾 議員
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

昨年2月27日の国による全国一斉の臨時休業要請を受け、本市におきましては、3月2日より全市立小中学校を臨時休業とし、5月24日より再開したところであります。

学校再開後につきましては、社会全体が、長期間にわたり、新型コロナウイルス感染症とともに生きていかなければならないとの認識のもと、感染症対策を徹底しながら、子供たちの学びを最大限、保障するよう努めてまいりました。

このような中、感染防止対策につきましては、本市教育委員会が独自に作成した「新型コロナウイルス感染症 学校対応マニュアル」に基づき、各校において、換気や消毒、3密を避けた学習活動等を行うとともに、手洗い、マスクの着用などの感染予防と感染者等に対する差別や偏見をなくすための指導を行ってまいりました。

これまでのところ、児童生徒の感染確認により臨時休業となった学校はあったものの、校内での感染拡大は認められず、また、新型コロナウイルス感染症に起因するいじめも報告されていないことから、学校における感染防止対策や指導が一定の成果をあげていると考えております。

次に、本年度の教育課程につきましては、夏季休業日の短縮により授業時数を確保するとともに、コロナ禍においても、学校ならではの「協働的な学び」の工夫を指導し、各校では、身体的距離を確保したうえでの話し合い活

## 報告：第5号

動など、「主体的・対話的で深い学び」の実現に取り組んできたところであり  
ます。

また、2学期からは、全小中学校に、学習指導の補助等を行う学習指導員  
と消毒作業等を行うスクール・サポート・スタッフを配置し、教員が児童生  
徒への指導に専念できる体制を作ってまいりました。

これらの取組により、全小中学校で、年度内に、本年度予定した教育課程  
を全て終了できる見通しとなっております。

来年度につきましては、この1年間のコロナ対応の経験を踏まえ、「本当に  
必要な教育活動は何か」を今一度、精査し、子供たちに、確かな学力の育成  
が図られるよう、学習活動の重点化や学校行事の見直しを各校に指示したと  
ころであります。

今後におきましても、未だ、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せな  
い状況を踏まえ、引き続き、学校現場と緊密に連携しながら、児童生徒の健  
やかな成長が図られるよう、万全の感染症対策と学びの保障の両立に取り組  
んでまいります。

## 報告：第5号

令和3年3月市議会定例会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### 玉諸小学校の校庭拡張について

- (1) 質問者 深沢健吾 議員
- (2) 質問日 3月5日
- (3) 答弁者 教育部長
- (4) 担当課 教育施設課
- (5) 答弁内容

玉諸小学校につきましては、近隣の宅地開発等に伴う児童数の増加により校舎等を増築したことから、校庭については、運動会や各種スポーツ活動などにおいて、十分な広さを確保できない状況があり、学校関係者や地域の皆様から、校庭の拡張について重ねて要望をいただいていたところであります。

こうした中、未来を担う子どもたちが、健やかで心豊かに育つ環境を提供するため、校庭の拡張に着手することとし、用地の確保に向けて地権者との交渉を重ね了解を得ることができたことから道路の付替え等、地域の皆様のご協力をいただく中で事業を推進してまいりました。

整備に際しては、降雨による水溜まりが短時間で解消され早期に活動が再開できるよう、路盤には、排水性を高めるためのマットを敷設するとともに近隣への砂埃を極力抑えるため、表層には、飛散しにくい土を使用しております。

また、校庭の有効面積を出来るだけ確保するため、遊具は、既存のものも含め拡張部分にまとめて配置いたしました。

さらに、社会体育や地域の行事等における利便性を考慮し、クラブハウスのトイレを従前の和式一箇所から洋式二箇所に整備いたしました。

現在、工事は、順調に進捗しており、予定通り、3月中に事業が完了する見込みであります。

## 報告：第6号

3月12日（金）06 山田弘之 議員 答弁資料目次（令和3年3月 予算特別委員会）

1-1

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
1-1 1-2 1-3 1-4 1-5	市民生活の現状認識等について	市長	1
1-6	あすなろ学級の増設について	教育長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
2-1	自治会未加入者、未加入地域への対応について	市民部長	1
2-2	甲府城周辺整備と観光施設の防犯街路灯の維持について	まちづくり部長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
3-1 3-3 3-4	職員の定員管理及び人事配置と安全配慮義務について	総務部長	1
3-2	スクールソーシャルワーカーの増員について	教育長	2

番号	質問事項	答弁者	答弁 順番
4-1	「甲府市創作の森おびな」の整備について	産業部長	1

## 報告：第6号

令和3年3月予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### あすなる学級の増設について

- (1) 質問者 山田弘之 議員
- (2) 質問日 3月12日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

本市教育委員会では、不登校解消のため、きめ細かな学習指導や居場所のある学級づくりなどの未然防止に取り組むとともに、月3日以上欠席の児童生徒を把握し、事例に応じて、学校に対して助言を行うなどの早期発見・早期解決、さらには、スクールカウンセラーによる当該児童生徒・保護者へのカウンセリングといった総合的な不登校対策に取り組んでいるところであります。

こうした取組の一つであります、「あすなる学級」につきましては、自学自習できることなどの条件を満たす児童生徒が学校復帰を目指し、学習や生活指導などを受けておりますが、希望者数及び利用者数は、ここ数年、30人台で推移しており、来年度についても、利用希望者の大幅な増加は見込まれていないことから現在、新たな学級の設置は計画しておりません。

今後におきましても、引き続き、本市の実態に基づいた多面的な不登校対策に取り組む中で、不登校の解消に努めてまいります。

## 報告：第6号

令和3年3月予算特別委員会 教育委員会関係の質問に対する答弁内容

### スクールソーシャルワーカーの増員について

- (1) 質問者 山田弘之 議員
- (2) 質問日 3月12日
- (3) 答弁者 教育長
- (4) 担当課 学校教育課
- (5) 答弁内容

文部科学省は、スクールソーシャルワーカーを、教員や多職種の専門家と連携して、様々な課題を抱える児童生徒の問題解決を図るためのコーディネーター的存在と位置づけております。

こうした中、本市教育委員会では、スクールソーシャルワーカーが、スクールカウンセラーや生徒指導アドバイザー等の他の専門スタッフ、子育て支援課の家庭相談員、児童相談所等の関係機関と連携・調整を図り、貧困、児童虐待、いじめ・不登校等の解決にあたっております。

また、文部科学省は、スクールソーシャルワーカーの全中学校区への配置について、中学校区単位で週1回・3時間程度の活用を想定しておりますが、本市教育委員会では、関係機関等との信頼関係に基づき、一元的に支援に当たることが効果的であると考え、1名の人材を通年雇用することで、関係機関と顔の見える関係をつくりながら、安定的・継続的に支援に当たっており、年間活用時間数は、文部科学省の示す目安を満たしている状況であります。

今後におきましても、スクールソーシャルワーカーを含めた、現行の多職種連携型の相談・支援体制を継続し、貧困、児童虐待、不登校等、児童生徒の抱える課題の解決に取り組んでまいります。

## 報告：第6号

令和3年3月23日

甲府市議会議長 兵道 顕 司 様

予算特別委員長 荻原 隆 宏

### 報 告 書

去る3月5日の本会議において、当委員会に付託されました令和3年度甲府市各会計別予算14案及び条例8案について、3月12日から19日までの8日間にわたり慎重に審査を行いました。

以下、その経過と結果について御報告いたします。

委員会は冒頭、総括質問を行いました。

(中略)

次に、令和3年度各会計別予算案の審査の経過と結果について申し上げます。

まず、一般会計予算について申し上げます。

(中略)

教育費については、GIGAスクール構想の推進についてただしたのに対し、令和3年10月からの本格運用に向け、教員の操作研修をはじめ、活用ガイドや児童・生徒向けの操作マニュアルの作成等準備を進めているとの答弁がありました。

これに対し、研修等を重ねながら円滑な運用、また児童・生徒の学びを保障できるよう取り組んでいくことを求める意見がありました。

このほか、主な要望・意見は次のとおりです。

- 1 学校給食費の公会計化に向けては、教職員全体の多忙化改善につながるシステムの構築等に取り組むこと。
- 1 小・中学校老朽化リニューアル事業を計画的に進め、安全・安心な施設環境の確保に

## 報告：第6号

努めること。

- 1 安全・安心な学校給食を提供するため、調理関係者への研修や立入検査等を行う中で、調理員等の危機管理意識の醸成を図ること。

(中略)

以上が令和3年度の一般会計、各特別会計及び各企業会計予算案の審査における質疑の  
大要であります。

この後、反対・賛成の討論があり、採決の結果、  
議案第 1号 令和3年度甲府市一般会計予算

(中略)

いずれも多数をもって当局原案のとおり可決するものと決しました。

(中略)

最後に、市長から、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症を乗り越え、本市の将来にわたる成長に向け、立ち止まることなく前進していく重要な年であり、ワクチン接種が安全・安心に行えるよう万全の体制確保に努めるとともに、新しい生活様式を取り入れた新たな日常を創り出し、地域経済の活性化を図る中で、引き続きこうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXTに掲げる重点施策・事業を力強く推し進め、市民福祉の向上に資する取組を着実に推進していくとの決意が述べられました。

報告の結びにあたり、本市においては、時節変遷する社会情勢の中にあって、持続可能な地域社会の実現に向け、「先端技術の活用」や「地域・組織の枠を超えた連携」、「防災・減災、国土強靱化」といった国の方向性を確実に把握する中で、将来にわたって成長し続ける歩みを着実に前進させていく必要があります。

コロナ禍により依然厳しい財政状況が続きますが、当局におかれましては、自主財源の確保と効果的な財源配分等に努めていただきながら、「新たな日常」の定着はもとより、

## 報告：第6号

アフター・コロナ時代を見据え、最優先事項とする新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の万全な実施をはじめとした感染予防対策と、地域経済を回復・活性化させていく対策との両輪を的確に講じていく中で、第六次甲府市総合計画の都市像の実現に向け、こうふ未来創り重点戦略プロジェクトNEXT及び第二期甲府市総合戦略に掲げる重点施策・事業を着実に推進し、安全・安心で明るい甲府の未来創りを、市長と職員が一丸となって取り組まれることを期待し、報告を終わります。